

第346回定例会一般質問発言通告一覧

(第3日・6月21日 個人質問)

5番 幸田 安司 <一問一答>

- 1 将来に向けての三田市地域公共交通について
 - (1) 三田市の公共交通をとりまく現状と今後の課題について。
 - (2) 農村地域等の公共交通のない地域について。
 - (3) おでかけサポート事業「社会実証実験」について。
- 2 ドライブレコーダーの設置状況について
 - (1) 市の公用車のドライブレコーダーの設置状況と安全対策について。
 - (2) ドライブレコーダーを「走る防犯カメラ」として市内企業や警察との連携を考えてみてはどうか。

7番 多宮 健二 <一問一答>

- 1 野焼き問題の解決について
 - (1) 第342回三田市議会定例会での一般質問への答弁にて、「兵庫県にも現在解釈について文書照会し、確認している」とあったが、照会の結果を議会に報告すべきだったのではないか。
 - (2) 第342回三田市議会定例会の時点では、県などの回答文も届いていない中で「三田市としては農業者が行う稲わら等の焼却は適法であると考えております。」との答弁により、新たな混乱が生じたように思えるが、なぜ、この答弁に至ったのか。
 - (3) 経営会議で諮られた、野焼き対策の専用相談ダイヤルの設置と、土日のパトロールについては、現状把握のために有効な手段だと思うが、一旦見合わせての再検討となった。見合わせになった理由と再検討の結果はどうなったのか。
 - (4) 三田市オンブズパーソンによる調査結果通知書にもあるよう、個別具体的な事例に則して、判断していくという姿勢に変えるべきと考えるが如何か。
 - (5) 三田市オンブズパーソンの調査結果を受けて、今後どのような対策を講じていくのか。
- 2 内部統制と人材育成について
 - (1) 野焼きの件において、担当課職員の市民に対する対応、市幹部より職員に出された指示の内容など、現在の組織が公務員としての本質を見失っているように感じられる。市長提案説明の中で、職場風土を変えていく地道な取り組みとあったが、現在の状況を見て、三田市役所をどのような職場に、そしてどのような職員を育てようとしているのか。

18番 松岡 信生 <一問一答>

- 1 公共施設マネジメント推進における基本姿勢について
 - (1) 地域イニシアチブによる公共施設活用の定義と条件等について。
 - (2) 売却方針決定時におけるプロポーザル及び総合評価方式等の導入検討について。
- 2 学校のICT環境整備の取り組みについて
 - (1) 現在の取り組み状況及び国の目標値に対する受け止めについて。

- (2) 新学習指導要領に基づいた環境整備について。
- 3 小型家電回収の取り組みについて
 - (1) 「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」参加について。
 - (2) 小型家電回収ボックス設置の再検討について。
 - (3) 市HP掲載及び学校等を含めた取り組み強化について。

- 4 災害時の対策強化について
 - (1) 災害対応型紙コップ式自動販売機の設置について。
 - (2) 自動販売機メーカーとの支援協力締結について。

10番 佐貫 尚子 <一問一答>

- 1 教員の働き方改革による部活動指導員導入の進め方について
 - (1) 教員の部活動負担軽減に向けての導入としているが、どのような人材を考えておられるのか伺う。
 - (2) 必要とする部と部活動指導員とのマッチングは難しいと考えるが、その進め方について伺う。
 - (3) 部活動指導員は、顧問として責任を負う立場で生徒の指導、指揮をとられる事になるのか。
- 2 三田本町通りセンター街周辺のまちづくりについて
 - (1) 三田駅前周辺は開発が進み、賑わいも創出される一方で、三田本町通りセンター街周辺は人通りも少ない。市はこうした地域へどのように取り組みをすすめられているのか伺う。
- 3 独居高齢者の終活支援について
 - (1) 身寄りのない独居老人の終活支援について伺う。
 - (2) 他の自治体では葬儀生前契約事業や、市民向けの終活セミナー等を実施されているが、このような取り組みについて市の考えを伺う。
- 4 発達障害児の相談体制の充実について
 - (1) 発達障害児童の保護者が育児のアドバイスを受けられるような相談窓口体制があるのでしょうか。
 - (2) 育児で悩む保護者の孤立や2次障害を防ぐためにも、相談窓口の充実が必要だと考えますが市の考えを伺う。

19番 平野 菅子 <一問一答>

- 1 チャッピーサポートセンター（子育て世代包括支援センター）の機能・体制の充実について
 - (1) 親子カルテを作成されているが、相談や心配事に対し各機関との連携・情報共有や問題解決に至るまでの「寄り添い」はどのようにされているのか。
 - (2) ワンストップ総合相談窓口「チャッピーサポートセンター」を広く市民にお知らせするために、「おでかけチャッピー」の開催拡充について。
 - (3) 妊娠・出産・子育てと切れ目のない子育て支援のための専門職員の配置体制について。
 - (4) 親子健康手帳と母子健康手帳アプリの導入について。
- 2 地域担当課長をサポートする「地域担当サポート職員」のあり方について
 - (1) 4月の人事異動後まもなく、サポート職員の臨時人事異動の発表があった。この時期に配置されたことについて。
 - (2) 本業の仕事とサポート職員との兼職のバランスについて。

- (3) 職員の人材育成と伺っているが、それであれば若手職員の登用を考えるべきではないか。
 - (4) 地域の課題解決のために、その地域課題に応じた担当部局の職員をサポート職員として配置する考えについて。
- 3 再生可能エネルギーの推進における三田市の影響について
- (1) 太陽光パネルの設置状況と環境・災害に与える影響について。
 - (2) 里山の保全・活用に関する条例の制定に向けての進捗と今後のスケジュールについて。
 - (3) 上記条例に、太陽光パネルの設置規制をどのように盛り込んでいかれるのかを伺う。
- 4 地域公共交通の今後のすすめ方について
- (1) 「地域公共交通網形成計画」策定の現在の進捗と、策定にあたり市が考える課題と何を盛り込むべきとお考えかを伺う。
 - (2) 各地域で地域力を活用した輸送サービスのあり方として、自家用有償運送等も視野に入れた考えもあると思うが見解を伺う。

8番 大西 雅子 <一問一答>

- 1 高齢者対策について
- (1) 地域の繋がりが薄い、高齢者の単身・夫婦世帯への支援について。
 - (2) 健康寿命を延ばすためのフレイル（虚弱）予防対策について。
- 2 ひきこもり支援について
- (1) 三田市権利擁護・成年後見支援センターにひきこもりに対応できる社会福祉士の増員について。
 - (2) 一人ひとりにあった支援がスムーズにできるよう医療・福祉・教育・就労の専門的知識をもったメンバーから構成する「ひきこもり検討委員会」の設置について。
 - (3) 円滑な社会参加ができるよう、幅広い年齢の方が利用できる就労体験等について。
 - (4) ひきこもりに対してノウハウを持つ、市民や市民団体の協力による支援について。
- 3 地域防災活動について
- (1) より一層の女性の参画と活躍推進について。